



Vol.167

2025年7月15日発行
(令和7年)

議会だより

しらたか

6月定例会
山形県白鷹町議会



元気に大きくな～れ(畑づくり)

よつばこども園

3ページに関連記事

議会もデジタル化	定例会概要	2p
大型補正予算のゆくえ	補正予算	3p
ここが聞きたい	一般質問	4p
重要事業20項目を県に要望	重要事業要望	13p
追跡レポート	政策提言は活かされたのか!?	14p
VOICE	アンケートへの回答	16p

お手持ちのパソコンやスマートフォンなどで議会中継をご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。



UD
白鷹町議会

高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。

この広報は、議員の自主編集で発行しています。

議会もデジタル化

タブレット導入で
ペーパーレス会議

紙の使用量削減に向けた取り組み 6月定例会から

一昨年から、会議での紙の使用量を減らすこと、情報共有の即時化を目指すため、ペーパーレス化に向けた準備を進めてきました。

昨年度中に、会議で使用するタブレット端末等の導入が完了し、管理及び運用に関する規程が整備され、使用するための研修などを経て、この6月定例会から正式に各種会議での運用を開始しました。



ペーパーレス化によるメリット

- ◆紙を減らし、森林伐採などによる二酸化炭素排出量の削減を目指します。
- ◆用紙代、印刷代、郵送費、資料保管費用など長期的なコストを削減します。
- ◆町の計画など、膨大な資料の中から必要な情報の検索が可能です。
- ◆通信機能により、議会内での円滑な情報の伝達と共有が可能になります。

新たな議会構成 任期後半 スタート

議長

菅原 隆男

副議長

関 千鶴子

議会運営委員会

◎ 金田 悟

○ 丸川 雅春

関 千鶴子

菅原 俊一

佐々木誠司

竹田 雅彦

総務厚生常任委員会

◎ 丸川 雅春

○ 竹田 雅彦

遠藤 幸一

関 千鶴子

佐々木誠司

衣袋 正人

産業建設常任委員会

◎ 菅原 俊一

○ 横山 和浩

今野 正明

菅原 隆男

山田 仁

金田 悟

議会広報特別委員会

◎ 佐々木誠司

○ 衣袋 正人

山田 仁

菅原 俊一

横山 和浩

予算特別委員会

◎ 遠藤 幸一

○ 菅原 俊一

議会活性化特別委員会

◎ 関 千鶴子

○ 山田 仁

ほか議長を除く全議員

ほか議長を除く全議員

ふるさと森林公園
再整備特別委員会

◎ 横山 和浩

○ 佐々木誠司

ほか議長を除く全議員

議会選出監査委員

◎ 今野 正明

○ 副委員長

◎ 委員長

○ 副委員長

定例会の概要

期 間 ●6月5日から6月12日（8日間）

審 議 ●補正予算（1件） ●条例改正（6件）
●財産取得（2件） ●報告案件（2件）
※全て原案のとおり可決

一般質問 ●佐々木誠司 議員【災害時等、緊急の際の情報伝達について】
●衣袋 正人 議員【非常時における危機管理体制の充実に向けて】
●丸川 雅春 議員【学校プールにおける水泳授業について】
●横山 和浩 議員【育児と仕事の両立に向けたさらなる支援を期待する】

6月
定例会

ー大型補正予算のゆくえー

補正予算の 主な質疑

健康福祉センターの改修
横山委員 福祉センターの外構等環境整備工事費として1200万円計上されているがどのような内容か。
健康福祉課長 通常の外構工事に加え、正面玄関のフラット化や屋外照明、防犯カメラ設置など、利用者が安心して利用できる環境整備を実施するもの。

みどり環境交付金
横山委員 事業概要に地域提案事業とあるが、その内容は。
林政課長 市町村提案型ということで、山形県から交付金をいただき実施する事業。内容は、産業フェアでの飾り炭体験や、夏休みに児童を県民の森に連れていき森林学習を行うことを想定している。



森林について学ぶ

集落支援員の配置
竹田委員 集落支援員の配置の現状は。
企画政策課長 本年度は6人を想定していたが、地区の要望もあり、現在9人の方に活動いただいている。地区別では、蚕桑・荒砥・鷹山・十王・東根の各地区が1人、鮎貝地区が3人、他に十王と鷹山合わせて1人という状況。

一般会計補正予算の主な内容

多世代交流型子育て支援・健康推進拠点施設整備事業 1312万円

健康福祉センターの外構工事など
 （9ページに関連記事）

子育て支援及び若者定住促進住宅整備事業 5億1039万円

設計と造成工事など（9ページに関連記事）

ふるさと森林公園整備事業 1億4700万円

再整備に向けた実施設計（8ページに関連記事）

6次産業化推進拠点施設整備事業 3300万円

敷地造成工事など

集落支援員事業 1090万円

集落支援員の増員

図書館情報システム運営事業 589万円

システム更新など

地区コミュニティセンター費 443万円

分館施設整備の申請増加への対応など

ヤナ公園管理事業 460万円

ヤナ場の改修を行う

みどり環境交付金事業 55万円

森林学習などを行う

など、7億5760万円を補正し、一般会計予算総額は106億9760万円となった。
 ◎財源は、国・県支出金、繰越金などで対応。

※万円未満は端数調整

表紙

元気に大きくなあれ
 （畑づくり）

ようばごども園

畑の硬い土の中から石を拾い、一生懸命スコップで耕して、キャベツにトマト、トウモロコシなど、食べたいものを頑張って植えました。

白鷹町の豊かな自然の中で、土の感触や水やり・観察を通して、食べ物を作るこの大変さやありがたさに気づき、多くを学びます。子どもたちも沢山の愛情を受けて、元気に大きくなあれ。





録画を配信

町民からの意見収集は行うのか

町長 まちづくり座談会の場で、ご意見を伺う



さ さ き せい じ
佐々木誠司 議員

4月に発生した水道の断水事案を受け、緊急の際の情報伝達手段について質問しました。

町民からの意見収集

問 今回の事案を受け、今後に向けての評価と検証をするうえで町民からの情報収集は不可欠。改めて意見を聴く機会はあるか。

町長 まちづくり座談会の中で事案についてお詫びしながら、ご意見を伺う場を設けるなどを検討している。

町公式LINEの普及

問 町の公式LINEや防災アプリでの緊急情報の発信は非常に有効で、誰もが簡単に登録できるような工夫

が必要である。今後さらに普及させる手立てはあるか。

総務課長 「広報しらたか」での毎月の登録案内や、町ホームページのトップページにQRコードを載せるなどの工夫について、今後対応していきたいと考えている。

個別受信機の普及

問 スマホなどを持たない高齢世帯の方の中には、町が個別受信機を貸与していることを知らない方もおられる。貸与可能な受信機

はすべて活用すべきではないか。

総務課長 450台導入し、410台を貸与している。現在はケアマネージャーや防災の出前講座などを通じて周知しながら、普及に努めている。

町の広報車

問 4台の広報車でお知らせに回ったとのことだが、町の車だけでは台数に限りがある。各コミセンとの協働体制など、計画の段階から整えておくこと良いのではないか。

屋外拡声器の使用

問 今回、屋外拡声器からの放送はなかったが、自動音声システム以外の放送ができないような、技術的な課題などはあるのか。

町長 当初想定した以上に大きなご迷惑をおかけすることとなった。今後このような場合には、コミセンにも協力などをお願いするという姿勢を持ちながら取り組んでいきたい。

総務課長 国民保護に関する事や、自然災害対応での使用を念頭に置いていたので、今回は使用しなかった。

問 直ちに町民の命に関わるような重大な事案でなければ使用できないような、運用上の基準などはあるのか。

町長 運用は各自自治体に任されている。緊急に町民の生命と財産を守るということが基本姿勢の中にあり、軽々な運用はしたくないと認識している。

今回の事案を反省材料とし、どこまで利用できるのか緊急性を含めて検討していきたい。

LINE
白鷹町 公式アカウント

登録はこちらから

QRコード▶
を読み取り
友達登録



私もひとこと

水道が細いとは気づいていたが、夕方のニュースで事態を知りました。
(80代女性)

危機管理体制をどうする

町長 効果的な情報伝達を検討したい



録画を配信

給水制限時の対応の検証と課題

問 情報共有と伝達など危機管理の課題を踏まえた検証はどうだったのか。

町長 原因特定に時間を要し、職員への詳細情報の伝達が困難だった。

反省を今後の対応に生かし、効果的な情報伝達の在り方を検討していきたい。

総務課長 情報ツールの活用などで現場の状況も把握しながら、効果的な対応ができるよう訓練をしていきたい。

地域連携と公共施設の活用

問 緊急時の地域コミュニティとの連携や公共施設の運用、既存インフラの活用はどのように考えているのか。

町長 コミセンや地域の方々から自主的な協力いただいた。

これらの課題はコミセンから意見をお聞きしながら二つ解決する努力をしていきたい。

総務課長 来るべき災害への備えが突発的な事案に対しても生きてくるのか、それらを踏まえた適切な対応が出てくる。どのような異常な事態を想定するかというところは今後考えていきたい。

要配慮者への支援体制

問 個別避難計画対象外の歩行困難者や外国人を含む地理不案内者などの要配慮者への支援体制をどうするか。

総務課長 日中の高齢者のみの世帯など、人の手助けが得にくいような方々を要配慮者と考えている。それ以外の方は、周りの方やご家族の協力をお願いしながら対応していくことと思う。

庁内連携と情報伝達手段

問 各課・部署間における情報共有と管理指示系統の在り方についての課題は何か。

町長 本事業に関して危機管理体制として、事態の進捗に合わせ対応を行ったが、特に情報を正確に早くお伝えする方法や、直接町民に対応する職員との情報共有について今後の大きな課題と捉え対応していきたい。



いぶくろ まさと
衣袋正人 議員



私もひとこと

「自分のことは自分で」と言われても足腰弱ってきて、なかなか出来ねなよなあ。
(80代女性)



水を求めて長蛇の列



録画を配信

水泳授業の重要性をどう捉えているか

教育長 心身の成長発達に欠かすことができない科目の一つ



まる かわ まさはる
丸川雅春 議員

水泳授業の重要性

問 本町において水泳授業の重要性をどのように捉え、実践されているのか。

教育長 児童生徒の心身の成長発達に欠かすことができない科目の一つと認識している。各学校の特色を生かした体力づくりを推進し、体力・運動能力の向上を図っており、水泳授業もその一環として行っている。

水泳授業の課題

問 全国的に水泳授業の回数が減ってきているという報告がある。本町において水泳授業を実践していく上でどのような課題があるのか。

教育長 プール施設の老朽化、気温上昇に伴う熱中症の危険、監視や見届けを行う人員確保の三点があり、全国的な事例収集に努めながら、より良い教育環境の改善等につなげていきたい。

酷暑の影響

問 昨年度、一昨年度の実際の水泳授業の実施状況はどうか。

教育次長 現在、暑さ指数を基準として水泳授業の可否を判断している。中止になった場合もあったが、別の日に振り替え、おおむね予定どおりに実施することができた。

児童生徒の達成状況

問 水泳授業において児童生徒の成長段階に応じて求められる、学習指導要領の達成状況をどのように捉えているか。

教育次長 技能習得のために必要な授業時間を確保しており、個人差が生じてはいるが、おおむね成長段階に応じた技能を習得していると認識している。

専門性の担保

問 小学校教職員における水泳の専門性の担保は確保されているのか。

教育次長 水泳指導研修は行われていないので、技術に関する専門性担保の確保は難しいが、救命救急講習会を開催し、それらに関する専門的な知識等の普及に努めている。

プールの温水化

問 熱源に、本町の特性を生かした木製チップを利用した温水化による、夏季に限定されない室内プールについて、どのように思われるか。

町長 町民の皆さんの健康づくりという視点では、施設の必要性は認識している。財源の問題を含めて木質バイオマスを使うことが理想的ではあるが、将来的なコストを考えながら対応していかねばならないと思う。さまざまな情報をいただきながら方向性を探っていきたい。

私もひとこと

命を守ることにつながる泳力を身につけるためにも、工夫しながら授業回数を維持していくことが大切だと思います。
(20代男性)



育児と就労に関するニーズ変化と対応は

町長 父親の子育て参加をさらに推進する



録画を配信

町民ニーズの変化

問 育児と就労に関するニーズの変化をどう捉えているか。

町長 「フルタイム就労の母親」が平成30年度の調査と比較し、3・6%増加し74・7%。「父母ともに育児を行っている」が9・6%増加し71・5%。父親の育児休業取得は13・4%。

父親の子育て参加をより一層推進し、働き方や生活の見直し等の啓発を図る。



よこやまかずひろ
横山和浩 議員

健康福祉センター

問 改修による具体的な支援機能強化とは何か。

町長 コワーキングスペース、キッズスペース、託児室、ベビールームなどを整備（土日や夜間利用も調整中）し、オンライン予約などデジタル技術も活用し利便性の向上を図る。



病児・病後児保育

問 町内に病児等保育施設がない。どのように対応していくのか。

町長 小児科医不在など町単独実施には課題がある。置賜管内の子育て支援施設は広域利用体制があり、利用料は全額助成。周知と情報収集に努める。

問 利用には登録が必要だが登録者数は。

健康福祉課長 登録者数は26人で昨年度は2世帯が利用された。

児童発達支援センター

問 3年目を迎える児童発達支援センター「にこっと」の評価を伺う。

健康福祉課長 一日あたり児童発達支援は5〜7人、放課後等デイサービスは10〜11人の利用があり、概ね適切な支援が提供できていると聞いている。

問 常に満員状態で場所の確保が課題とのご意見がある。どのようにに捉えているか。

健康福祉課長 ほかの事業所と調整を図りつつ、長期的な利用を予測した上で、事業所の考えも伺いながら体制整備を図りたい。

町長 人材確保は容易でなく、今後の見通しなどを立て関係者のご意見を伺い対応したい。



私たちが支援します「にこっと」

子育てタクシー

問 子育て家庭を支援しようと、タクシー会社が「子育てタクシー」を提供している。利用状況はどうか。

健康福祉課長 登録者数は27人だが、利用実績はないと聞いている。今後も県と連携し広報を継続したい。

私もひとこと

子育てタクシーは知らなかった。子どもの公共施設利用のための移動支援も期待したい。
（30代女性）



条例

●白鷹町健康福祉センター設置条例の一部を改正する条例の制定

- ①題名を白鷹町健康福祉センターの設置及び管理に関する条例に改める。
- ②設置目的に、子育て支援ネットワーク形成の支援、健康習慣の普及及び多世代交流の拠点機能を追加する。
- ③指定管理者による管理を可能とする。

●白鷹町水道給水条例の一部を改正する条例の制定

災害等の緊急時に、水道等の復旧を円滑にするため、他の市町村長が指定した者が当町の工事を行うことを可能とする。
※下水道も同様とする。

●白鷹町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

飲用水の給水停止事案を受け、町長の給料の1カ月分の20%を減額する。

ほか3件

財産の取得

●取得する財産

取得物件	除雪ドーザ	1台
取得予定価格	40,480,000円	
契約相手	寒河江重車輛株式会社	
	代表取締役 土田朋由	

●取得する財産

取得物件	スクールバス	1台
取得予定価格	19,800,000円	
契約相手	迎田自動車整備工場	
	代表 迎田信一	



安全運転をお願いします

質疑
事業予算への影響
委員 一括施工による
予算削減額は。
当局 約1億円の削減
を見込む。

【施設整備計画】
○工事の一括施工
・基本構想では分割施工により宿泊や飲食営業も確保する計画としていたが、安全性確保、事業費増などの懸念により、浴室棟以外の全区画を一括して施工する。
・一括施工により1年ほど工期短縮。
○事業費
・工事等の概算事業費約25億円。物価高騰等の影響により変動も見込まれる。



従業員への影響
委員 施工期間の従業員への手当て等は。
当局 指定管理料の対象となつてゐる温浴施設とパークゴルフ場などは継続して運営する計画であるため、管理委託料を支払う想定。自主事業である宿泊・宴会については影響をみながら雇用の継続についてお願いしている。



温泉営業への影響
委員 浴室棟解体の際、温浴施設は休止か。
当局 新施設の整備後に既存施設を解体する予定のため、影響は少ないと思われる。

「ふるさと森林公園再整備の取り組み状況」について説明を受けた。

一括施工で工期の短縮と予算削減へ

ふるさと森林公園再整備特別委員会 5月30日

閉会中の動き 特別委員会

今年12月の正式オープンを目指す

「白鷹町多世代交流型子育て支援・健康推進拠点施設」の管理・運営等について説明を受けた。

健康福祉センターを

改修し、多世代交流型子育て支援・健康推進拠点施設の整備を進めてきた。今後は指定管理者による管理・運営の準備と、環境整備などの工事を進める。

【管理・運営】

- 指定管理者の業務
- ・施設の維持管理
- ・施設の運営、広報等
- 開館時間等（予定）
- ・午前9時～午後9時
- ・休館日は月、火曜日と年末年始

【外構等整備工事】

- ・正面玄関のフラット化
- ・屋外照明改修 等
- （事業費 1200万円）

【今後の予定】

- 9月 指定管理者の指定
- 10月 工事完成
- 11月 供用開始
- 12月 グランドオープン

【使用料】

多目的運動ホール	200円	1人・2時間当たり
コワーキングスペース	100円	1時間当たり
いきいき運動ルーム	220円	
すくすくルーム	170円	
キッチンルーム	530円	
共有スペース(占用時)	10円	5㎡・1時間当たり

※町外の方は一部の部屋を除き3倍額
※営利使用は一部の部屋を除き3倍額
(町外の方は4倍額)

質疑

宣伝活動

【委員】町内外への宣伝活動や、使用の申し込み方法はどのような事を考えているのか。

【当局】町報やSNS、健康まつりなどでも大きく宣伝していきたい。ネットでの予約のほか、電話でも受けるようにする。



オープンが待ちどおしい

子育て・若者支援住宅整備

「子育て支援住宅及び若者定住促進住宅整備事業」について説明を受けた。

【目的】

定住促進・転出抑制対策として子育て支援住宅及び若者定住促進住宅の整備に取り組む。

【整備概要】

- 子育て支援住宅
- ・戸建て住宅12棟(12戸)
- 若者定住促進住宅
- ・集合住宅3棟(18戸)
- 木質バイオマスボイラー施設整備
- ・ボイラー・燃料投入施設等
- 付帯工事
- ・構内道路、駐車場等

【概算事業費】

- ・予算 18・4億円

【住宅整備スケジュール】

- 変更実施設計
- ・令和7年度
- 建設工事
- ・令和8～9年度

質疑

供用開始

【委員】住宅供用開始はいつごろを想定か。

【当局】令和9年度に供用開始したい。

大雨への対応

【委員】大雨浸水に対し配慮していることは。

【当局】確かな情報を提供し早期避難に努めていきたい。避難等は町全体の取り組みであり連携して進めたい。

付帯工事

【委員】付帯工事として公園等は整備するか。

【当局】公園の計画はないが緑地スペースは設けたい。近隣にも公園はあるが、利用頻度は低いと感じている。子どもが少なくてもあり、公園で遊ぶ子どもは少なくなっていることも考慮したなかで進めたい。



現在の子育て支援住宅



産業建設常任委員会 6月9日

有害鳥獣処理を推進

「有害鳥獣減容化施設の整備」について説明を受けた。

【背景】

イノシシなど有害鳥獣駆除後の処分にあたり捕獲従事者の負担や埋設地不足といった課題を解消するため、早急に処理施設の整備を進める必要がある。

【これまでの動き】

※減容化処理施設の先進地視察、地区民説明会、白鷹町鳥獣対策協議会開催など。

【スケジュール】

- 令和7年度 整備候補地決定、基本構想ほか
- 令和8年度 地盤調査、造成ほか
- 令和9年度 実施設計、工事
- 令和10年度 供用開始

質疑

選定方法

【委員】候補地5力所が示されたが、選定に至った背景は何か。

【当局】白鷹町鳥獣対策協議会にて、当初は幅広く選定し、その後地盤の緩い地域、農業振興区域等を除外した。冬季の利用や環境への影響を踏まえ、慎重に検討していく。

※減容化処理施設 駆除した動物を体積や重量を減らして最終処分がしやすくなるように処理を行う施設。



福島県飯館村の処理施設

いやな臭いは無いですね

【経過】

既存3工業団地に空きがなく、用地不足による立地企業の町外移転等が懸念される。このような状況を踏まえ、新たな産業用地の整備を行うため、基本構想を策定した。

【概要】

- 最終候補地 十王南地区
 - 事業主体 白鷹町
 - 事業遂行方法 県住宅供給公社立替施行制度を利用
- 【今年度の取り組み】
- 基本構想に基づき、基本計画等作成に着手。
- 【スケジュール】
- 令和8年3月 基本計画等策定
 - 令和11年度 分譲開始

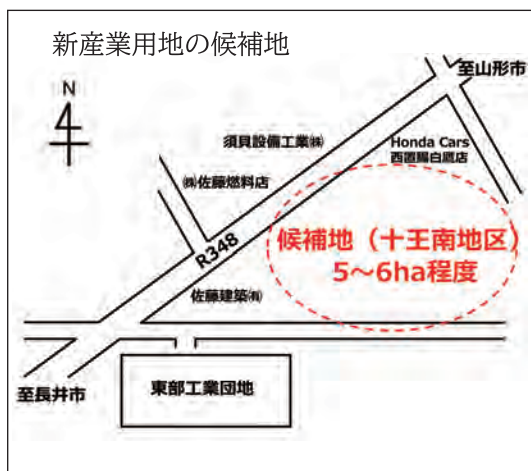
新たな産業団地の整備に向けて

5月に策定された「白鷹町新産業用地整備基本構想」について説明を受けた。

質疑

職住育近接

【委員】第6次町総合計画で示す「職住育近接」にともない配慮した点は。 【当局】検討結果を踏まえて5地区から選定した。職住育近接に配慮した候補地で、環境が整いつつある地区である。



その他
○一般財団法人白鷹町アルカディア財団の経営状況についてなど、説明があった。

正しい処理で、きれいな町を次の世代に

「白鷹町ごみ処理基本計画」の策定について説明を受けた。

現在の計画期間が6年度末で終了したことから、新たに次期の基本計画を策定する。

【計画期間】

令和8年度～17年度
(10年間)

【目的】

ごみの適正処理、排出量抑制、減量化・資源化及び再生利用により、次世代に継承できる良好な環境の保全と持続可能な循環社会の実現を目指すための、方向性を示すもの。

【計画の内容】

- ごみ処理の現状と課題
- ごみ発生量の将来推計と排出抑制の目標
- 排出抑制のための方策
- 適正処理の推進のための具体的な計画

【今後の進め方】

9月 策定の中間報告
12月 計画最終案の説明
3月 パブリックコメント
計画の決定
広報等で計画を周知

質疑

目標値の設定

委員 目標値の設定は、今後の排出量などを想定したうえでの設定となるのか。

計画内容の新たな点

当局 これまでの既存目標なども検討しながら、新たな目標を設定する。

委員 数値目標以外で、考え方が大きく変わる点はあるか。

町長 他市町での取り組みもあるが、生ごみをエネルギーに変えるなど新たな可能性も考えられる。



いつもありがとうございます

犯罪による被害者等、町全体で支える

「白鷹町犯罪被害者等支援条例」の制定について説明を受けた。

犯罪被害者等は、経済的に困窮し、精神的な苦痛に耐える生活を強いられる場合が少なくない。条例を制定し、被害者等を支えるまちづくりを推進していく。

【条例制定の目的】

○町の基本的な方向性を示す。

○役割を明確化し、町全体で被害者等を支える地域社会を形成する。

○生活維持に向け負担の軽減を図る。

【具体的な支援内容】

○相談窓口の設置

○国・県による支援のほか、町要綱に基づき見舞金を支給

【今後の進め方】

7月 パブリックコメント
9月 常任協議会で説明
10月1日 定例会に上程
施行

質疑

被害相談と見舞金

委員 6年度から見舞金を予算化しているが、被害相談と見舞金支給の実績は。

当局 相談は犯罪に限らず随時受け付けており、内容により各関係機関につなげている。6年度は見舞金の支給はなかった。

町独自の支援は

委員 先進事例なども参考に進めることになると思うが、町独自の支援などの考えはあるか。

町長 全国的な取り組みであるため、町独自の思いを反映させるのは難しいと考える。



その他

○第6次白鷹町総合計画の成果目標に対する進捗状況について
○第7次白鷹町行政改革大綱策定に向けた取り組みについて
など、説明があった。

新たな経営への第一歩

ー組織構造が大きく変化ー



7年度からはコミセンの受託も

○令和6年度事業及び損益

財団収入計	1億5438万円
収入前年比	▲1億2205万円
(うち受託収入)	8000万円
(同上前年比)	▲3436万円
当期損益	5222万円
繰越欠損金	1736万円

○主たる増減 (対前年度比)

ふるさと森林公園管理委託料	▲3436万円
受取補助金等	▲7415万円
受取寄附金	6000万円
(指定正味財産から一般正味財産へ振替)	

※万円未満は端数調整

事業報告

一般財団法人 白鷹町アルカディア財団

理事長 田宮 修

◆概要 令和6年度は、ふるさと森林公園及び関連施設の指定管理業務の終了に伴い、各種変更手続きや引き継ぎに加え、財団の事業及び組織構造の変更など大きな変化が生じた年度であり、新たな経営の第一歩となる節目の年となりました。

一方新たな事業として、令和7年度から町内コミュニティセンターの管理及び運営に関する業務の受託が決定し、各地区における地域づくりの一翼を担うことになりました。

◆経営状況 今般の指定管理業務終了に伴う事業規模の縮小により、学校給食調理業務の受託、産業センターの運営管理、町立病院売店営業の3本立てとなったことで、年度当初からの経常収益の大幅減少が見込まれる中、短期借入金の全額返済を行うとともに、長期借入金についても年度内に一部返済を行い、経営の健全化を図りました。

経常収益合計は、1億5437万6千円(計画比102.6%、前年比55.6%) 経常費用合計は、9021万3千円(計画比106.8%、前年比31.9%)となり、営業利益は6416万3千円となりました。

町立病院の業務を受注 職員数は48人

有限会社ケイエスしらたか

代表取締役 藤島 丈

■主な業務受注状況

◇白鷹町立病院

医療事務・事務宿日直・病院施設管理
調理業務・電算保守等・事務補助
患者介護業務

■取締役・職員数(令和7年3月31日現在)

◇取締役 2人(非常勤・無給)

◇職員 48人(1人増)

病院医療事務員・・・14人(1人減)

病院宿日直・・・1人(1人減)

病院施設管理(兼病院宿日直含む)

病院調理師(管理栄養士兼務含む)

電算管理・・・2人

病院事務補助・・・7人(3人増)

看護助手・・・11人

※()は、前年度との比較

■令和6年度決算

◇事業収益 1億8036万円

◇事業費用 1億7961万円

◇当期純利益 46万円

※万円未満は端数調整

■財産状況

◇資本金以外の財産なし

重要事業20項目を県に要望

6月23日、菅原議長と佐藤町長は山形県置賜総合支庁を訪れ、『令和8年度重要事業要望書』を、佐藤佳子総合支庁長に手渡し、約1時間にわたり、白鷹町に対する県の支援を要望した。



	要 望	内 容
1	白鷹高等専修学校への支援充実	高等課程を有する白鷹高等専修学校に対し、私立高等学校と同程度の支援を (令和7年度 県内生徒一人当たりの補助単価 私立高校：372,470円 専修学校：76,197円)
②	地方公共団体情報システム標準化・共通化に係る財政支援	システム移行後の通信費用等、運用経費の大幅増加分は、国費で支援を (移行前に比べ、年間約7,800万円の増となる見込み)
3	人口減少対策に対する支援	①外国人材の定住支援 ②子育て世代の経済的負担軽減 ③結婚対策支援 (令和6年度の白鷹町内の出生数は39人、20代の町外転出が多い)
4	地方交付税総額の確保充実	本町のような過疎団体が地方の特色を生かした魅力あるまちづくりを推進するためには、地方交付税の確保は必要不可欠
5	地方公共交通に対する支援	①デマンド交通への国庫補助 ②フラワー長井線への助言と支援の拡充 (経費増による財政負担が大きい) (鉄道施設の老朽化等による財政負担が大きい)
6	過疎対策事業債の必要額確保	急速な人口減少と少子高齢化に対応し、安心して暮らせる持続可能な地域社会実現のため必要額の確保
⑦	水道事業広域化への支援	災害を含む緊急時の対応、人口減を想定した施設統廃合による経営の効率化、水道の一元管理による安全性向上が期待される広域化の検討が必要
8	地域医療の確保	町立病院が持続可能で安定的に運営できるよう財政措置の拡充と、医師や医療技術職等の医療人材養成・確保に指導や助言を
9	木材の安定供給体制を構築するための支援強化	①森林施業、路網整備、高性能機械の導入支援 ②伐採制限の要件緩和 (主伐期を迎えた木が多い本町の森林だが伐採制限により森林施業が思うように進まない)
10	森林境界明確化事業への支援	森林整備や集約化、山林部の地籍調査への活用も期待できる境界確定作業への支援拡充と専門的・技術的な指導や助言を
11	有害鳥獣対策への支援	①有害鳥獣の捕獲に対する支援の拡充 ②有害鳥獣処理施設整備への支援 (現行の埋却処理では場所の確保等課題が多いため処理施設の整備を進めている)
12	酪農業の持続可能な支援	酪農業継続のため新たな乳価設定の仕組みづくりや肉用牛と同様のセーフティネットの構築と、自給飼料の生産・供給の体制づくりへの支援を
13	国道348号の高規格化再整備	勾配が大きくカーブも連続し、事故発生件数、負傷者数、死者数が県内ワーストレベルにある国道の高規格化による再整備を
14	主要地方道長井白鷹線道路改築事業の早期着手	白鷹大橋から役場前区間の早期事業着手を進め、荒砥甲地内の無歩道区間(現グリーンベルト区間)に安全安心確保のための歩道の設置を
15	国道287号(菖蒲・下山地内)道路改築事業の整備促進	菖蒲・下山地内には狭い箇所や急カーブ、歩道未設置区間があり、児童生徒及び地域住民の安全確保を図るためにも早期の改修を
16	黒滝橋の架け替えと一般道深山下山線の改良調査の早期着手	住民の安全に配慮しながらスムーズなアクセスを確保するため、黒滝橋の架け替えと深山下山線の改良を (大型車の通行が多くすれ違いができない)
17	主要地方道長井大江線道路改築の早期着工	住民の安全な歩行確保と車両の走行性を確保するため早期改築が必要 (歩道がない区間では小中学生や住民の安全面で大きな不安を抱える)
18	長井～白鷹間の西廻り幹線道路整備の早期着工	町民の安心安全を確保する置賜病院へのアクセス道路として、南は新潟へ東は山形へとつながる重要な路線であり早期着工へ住民の期待が高まる
⑬	主要地方道長井白鷹線の変形十字路とカーブの解消	西高玉区内交差点は、県道と町道が変形十字交差しており、見通しが悪く事故の発生が懸念されるため交差点改良に向けた調査の早期着手を
20	GIGAスクール構想等による個別最適な学びの充実	タブレット端末やソフトウェアの更新、教員業務支援員や学校生活支援員配置による財政負担が課題となっているため支援の拡充を

○印は新規要望



かされたのか!?

国際交流と、縁（ゆかり）のある都市との交流の推進

【担当：商工観光課】

内 容	回 答
◇町内の外国人とお互いの理解を深めるため、さらなる国際交流の機会をつくること。	◇町内には179人が居住（令和7年3月末現在）。日本語教室や「小さな旅」「交流芋煮会」なども行った。今後は交流の輪を広げ企業や国際交流協会と一緒に取り組んでいく。
◇本町とゆかりのある都市と特色ある連携や交流を深めること。	◇気仙沼市と小学生スポーツ交流、桶川市とは紅花、長岡市や海老名市、三鷹市とは物産振興など交流・関係人口の拡大を図る。

提言3 魅力と活気にあふれる「しごと」づくり

白鷹町ならではの観光事業の振興と充実

【担当：商工観光課】

内 容	回 答
◇町の資源を活かした観光事業によって地域全体の活性化や賑わいを図ること。	◇町内観光資源を有効活用する目的で「体験、歴史文化に触れる、学ぶ、スポーツ、健康」に重点をおいた観光コンテンツを生み出すことにより滞在型観光を作り上げていく。
◇紅花を身近に感じてもらえるよう家庭や企業に種を配る「紅花いっぱい運動」を行うこと。	◇十王地区と中山地区に紅花の種を配っている。児童生徒にも紅花摘みを体験してもらうなど、多くの方々が紅花に触れる機会を作っていく。
◇紅花栽培の課題を分析し生産振興や人材確保の対策を早急に行なうこと。	◇課題は新規生産者の確保であり、連作障害への対応、生産が広がるような支援の拡充も行っていく。



持続可能な農業・農村に向けた支援

【担当：農政課】

内 容	回 答
◇農業者育成支援や担い手・後継者の確保などの対策を早急に。	◇首都圏などでの相談会へ出展するとともに農業に触れ合う機会を作っていく。
◇現在の農業事情をつかみ農業全般にわたる中長期的な支援策を。	◇生産費高騰など環境は厳しいが米価高や生産目安の増加は生産者の意欲向上につながった。動向を注視しながら支援を行う。
◇地域計画に沿い、実態に即した持続可能な農業・農村の推進を。	◇地域計画により農地の将来像が見えてきた。農地を維持していく仕組みづくりなど効果的な維持管理に向けた話し合いを続ける。



政策提言は活



提言1 安心して暮らせる「まち」づくり

有害鳥獣対策の充実と強化を

【担当：林政課】

内 容	回 答
◇電気柵や捕獲ワナの設置などに引き続き支援を行い被害が減るように努めること。	◇自家菜園も含めた耕作地の電気柵設置への補助金を引き続き支給しているほか、地域ぐるみで設置を希望する地区には広域電気柵の貸し出しも行っている。
◇銃弾の値上がりで猟友会員の個人負担が増えているので、報酬を上げること。	◇令和6年度から銃弾や捕獲用エサの購入代金を支援している。また、令和7年度からは活動賃金と新たに狩猟免許を取る人への補助金を増やした。
◇有害鳥獣処理施設をつくるにあたっては、候補地となる地元住民と町民の理解を十分に得ること。	◇近県の先進的な取り組みをしている施設の視察や町内数カ所の候補地を確認しながら選んでいる。特に候補地となる住民の方々には必要性や安全性を丁寧に説明し合意を得られるように努める。



提言2 移住・定住、郷土を愛する「ひと」づくり

安心して子どもを産み育てられる取り組みを

【担当：健康福祉課】

内 容	回 答
◇出生率を上げるための新たな取り組みを抜本的に行なうこと。	◇妊娠した段階での給付金、子育てアプリの充実、オンライン相談の実施検討、中高生を対象に乳幼児とのふれあい体験を行ない未来の結婚や子育てを考える機会になるようにしていく。
◇デジタルの活用も含めた若者の視点を生かし、婚姻率向上の対策に向けプロジェクトチームを立ち上げること。	◇若者から結婚への思いや意見などを聞く機会を設け、ニーズを事業に反映していきたい。婚活イベントはノウハウのある民間企業と連携していく。プロジェクトチームに関しては検討していく。

住み良さを感じる移住・定住支援の充実を

【担当：企画政策課】

内 容	回 答
◇地域人材ベースキャンプの充実や魅力化を図ること。	◇これまで、移住者2人を含む3人を雇用している。働く人とマルチワーク事業協同組合双方から意見を伺い魅力化を図っていきたい。
◇移住者が本町で誇りを持ち生活できるようにし、さらに移住者や定住者が増えるようにすること。	◇移住者に対しては、定住に向けた支援を行っている。 (住宅を手に入れた時の支援金や、経済的な支援金がある※年齢要件あり) 令和7年度からは移住者ケアに対応できる体制づくりを行っていく。

議会だよりアンケートへのお答え

前号で掲載の、「議会だよりアンケート」で皆さまからいただいた、
議会広報に関するご意見等についてお答えいたします。

(●…ご意見、⇒回答)



- 「追跡レポート」が、分かりやすくまとめられている。末尾の「まとめ」は、職員も熟読で～す！
- 委員会及び一般質問で、質疑～答弁が記載されており、それらが実効あるものになることが重要。

⇒質疑や提案を追跡し、その後の経過をお知らせすることも大事と考えます。

- 「閉会中の動き」を今後も取り上げてください。

⇒定例会以外にも協議会・委員会や各種研修が開催されております。紙面制約の中ですが、可能な限り掲載したいと思います。

- 町報もですが、10文字程度の縦書きがとても見づらい。横書きの「追跡レポート」の方が見やすかった。
- 小さい字は目に入らない。肝心なところは太い字で。重要な箇所のみで具体的なところは必要ない。

⇒レイアウトや色使いなど、読みやすい紙面づくりに努めます。

- 町のことを意外に知らないんだと感じさせられます。これからも情報を発信して下さい。
- きちんとまとめられていて要点がわかりやすく、読みやすい。

⇒皆さまからのご意見を参考に、手に取っていただける、読みやすく、分かりやすい、そして、皆さまとつながれるような議会だよりを目指します。

町民の皆さまに取材をする機会もあると思いますので、その際はぜひ御協力をお願いいたします。

貴重なご意見ありがとうございました。

※その他、町へのご意見などは、関係する担当課にお伝えします。



編集後記



▼胸に紅花を模した深山和紙製のブローチと演台には紅花の生け花。紅花生産量日本一を誇る本町を象徴し、毎年6月定例会の恒例となりました。

▼会議ではタブレット端末を導入し、紙を減らす取り組みも始まりました。

▼今年は任期4年の3年目となり、後半に向けて議会構成も新たにしました。本誌の編集委員の顔ぶれも大きく変わり、一同、新たな気持ちで、皆様のご意見を参考に読みやすい紙面づくりに取り組みます。

(佐々木)

広報委員

委員長 佐々木誠司
副委員長・編集長 衣袋正人
委員 山田 仁
委員 笹原俊一
委員 横山和浩
印刷・梅津印刷

発行責任者 白鷹町議会議員 菅原 隆男 編集 議会広報特別委員会

〒992-0892 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲833番地
E-mail gikaijimu@so.town.shirataka.yamagata.jp

電話 0238-85-6135 FAX 0238-85-2128
HP <http://www.town.shirataka.lg.jp/1053.htm>

